

11. あなたを奴隷にするもの

エペソ人への手紙 1 章 7 節

この方であって私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

自由は貴重なものです。歴史の中で多くの人々が自由を祈り、それを得るために時に戦い、死に至ったことさえあります。しかし、本当のところ自分たちの政治的な状況にかかわらず、すべての人が罪あるいは神様の奴隷です。イエス様も、パウロもこのように言いました。

イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を行っている者はみな、罪の奴隷です。」(ヨハネ 8 : 34)

被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。

(ローマ 8 : 21)

しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです。(ローマ 6 : 22)

当時のローマ帝国には 2 千万人以上の奴隷がいました。奴隷の売買は大きなビジネスで、奴隷が自由となるためには、買い戻し金が必要でした。この“買い戻し”のギリシャ語が、エペソ 1:7 の罪からの“贖い”という言葉に用いられています。私たちが受けた贖いとは、罪の奴隷の状態からイエス様の血という大きな代価によって買い戻された事を意味します。

罪の奴隷には自由がなく、神様の奴隷には自由があります。

どういう意味でしょうか。人々が自由に選択出来ていると考える場合でも、実は自分たちの利益や欲、罪におびき寄せられた選択しかできていない、罪の影響をもって選択をしている罪の奴隷であるということです。しかしクリスチャンは神様によって罪の奴隷から買い戻され、自分の意志を変えて神様に沿わせることができます。たとえ失敗することがあっても、私たちクリスチャンは、イエス様に似た者になりたいと強く願います。罪の奴隷はイエス様に似た者になろうとも思わないし、それを望みもしません。

しかし、みことばを守っている者なら、その人のうちには、確かに神の愛が全うされているのです。それによって、私たちが神のうちにいることがわかります。神のうちにとどまっていると言う者は、自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません。(1ヨハネ 2:5-6)

今日私たちにはキリストの道を受け入れた歩みを現すチャンスがたくさんあるでしょう。主への愛を態度をもって現してまいりましょう。

神様、あなたが公正で、あなたのしもべの為にいつも最善をなしてくださることを感謝いたします。自分のために生きる奴隷は、あなたに相応しくありません。神様の意志に逆らう思いや行動から私たちを守ってください。イエスの名によって、アーメン。

